

取扱説明書

家庭用 本品を業務用・管理用として
使用しないでください。

LIFELEX

品名

電波時計

型番

FX-RC5818

このたびはお買い上げいただきありがとうございます。この取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
また、本書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

ご使用の前に

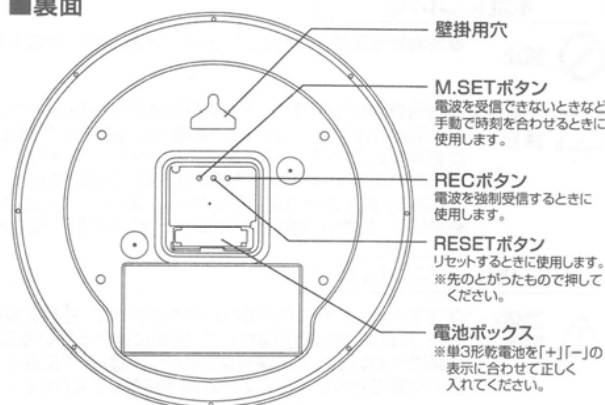
本品は日本標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った電波掛時計です。操作の手順や動作などが、一般の時計製品と異なります。本取扱説明書の「ご使用方法」に従って、正しい操作をしていただきますようお願い申し上げます。
本書をお手元に保管してください。

各部の名称

■表面



■裏面



※イラストはイメージです。

ご使用方法

注意

電波受信中(受信のための時分秒針の運針中または停止中)は手動による時刻設定はできません。
誤動作の原因となりますので、必ず通常の運針中に操作をしてください。

①電池を入れる

- 単3形乾電池1個を、電池ボックスの「+」「-」の表示に合わせて正しく入れてください。
- ※電池の絶縁紙・絶縁キャップがついている場合は、はずしてから電池を入れ直してください。

②電波受信を開始

- 電池を入れると自動で電波の受信を開始します。すべての針が早回りを始め、12時の位置で一旦停止します。
- ※すべての針が停止中に、「M.SETボタン」を3秒以上押し続けると受信を終了します。針は12時より通常の運針を始めます。
- 電波を受信すると、秒針が通常運針を始め、時・分針が早回りを始めます。自動で現在時刻を指して、通常の運針を始めます。
- ※電波受信中(3~15分間)は針が止まった状態になりますが、故障ではありませんので、電波受信の結果がわかるまでそのままお待ちください。
- ※初期受信に失敗した場合、針は12時より通常の運針を始めます。
- ※内蔵されたスケジュールの時刻になると、自動電波受信モードになります。受信に成功すると、針が早回りして現在時刻を指し、通常の運針を始めます。

③時計を掛ける

- ※本取扱説明書の裏面、「時計の掛け方について」と「電波時計について」を参照してください。

電波受信ができない場合

①一昼夜そのままにして様子を見る

日中に比べ夜間は雑電波が少なく受信状態がよくなります。

※初期受信ができない場合は、1日最多6回まで自動で受信を開始します。

※電波を受信できない場合は、時計内部で計測している時間で次の自動受信時間まで通常の運針を始めます。

②設置場所を変える

設置場所を変えて、再度、電波の受信を開始させてください。

※テレビ・パソコン機器の近くでは、電波を阻害する場合があります。1~2mは離れた場所に設置ください。

※設置場所を変える場合は、本取扱説明書の裏面、「電波時計について」を参照してください。

③再度、電波の受信をさせる

通常運針が始まった後に、「RECボタン」を3秒間押し続けてください。すべての針が早回りを始め、12時の位置で停止し、再度3~15分間電波受信状態となります。

※すべての針が停止中に「M.SETボタン」を3秒以上押し続けると電波の受信を終了し、受信中の経過時間を加えた位置まで針が進み、通常の運針を始めます。

●受信に成功した場合：秒針が通常運針を始め、時・分針が早回りを始め、自動で現在時刻を指して通常の運針を始めます。

●電波を受信できなかった場合：電波受信状態中も時計内部で時間を計測しているため、受信中の経過時間を加えた位置まで針が進み、通常の運針を始めます。

④手動で時刻を設定する

1. 通常運針中に秒針が停止するまで「M.SETボタン」を押し続けると、手動設定モードになります。

2. 秒針が12の位置まで進んだ後、「M.SETボタン」を押し続けると針が早回りをし、放すと止まります。

※お使い始めの電波受信中、すべての針は12時の位置で停止します。

※合わせたい時刻の10分ほど手前で一旦早回りを止めて、残りの数分を「M.SETボタン」を1回ずつ押して針を進めると合わせやすくなります。

3. 「RECボタン」を押すか、そのまましばらく放置すると、秒針が動き出し通常の運針を始めます。

※手動で時刻を設定した場合、内蔵されたスケジュールの時刻になると、自動電波受信モードになります。受信に成功すると、針が早回りして現在時刻を指して、通常の運針を始めます。

自動電波受信機能について

本品は時刻を修正するために、毎日、内蔵プログラムにより自動受信を行います。(1時00分、3時00分、5時00分、13時00分、17時00分、21時00分:6回)電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時し、次の自動受信時間に再度電波受信を行います。

リセット操作について

操作中に不明な点が出てきた場合は「RESETボタン」を押してください。(設定が初期状態に戻ります。)すべての針が早回りし12時の位置で停止し、再度3~15分間の電波受信状態となります。

時計用電池の交換時期について

秒針の進む速度が遅くなったり、自動電波受信のとき針がぐるぐる回る場合は、すみやかに新しい電池と交換してください。

こんな症状のときには

■針がぐるぐる回る

①電池を入れた直後の電波受信の準備中 ➡ そのままお待ちください。

早回りしている針は、12時の位置で一旦停止します。

電波を受信すると、秒針が通常運針を始め、時・分針が早回りを始めて自動で現在時刻を指して、通常の運針を始めます。

②時刻修正中 ➡ そのままお待ちください。

電波を受信すると、秒針が通常運針を始め、時・分針が早回りを始めて自動で現在時刻を指して、通常の運針を始めます。電波を受信できなかった場合は、針は受信経過時間を加えた位置まで進み、通常の運針を始めます。

③電池残量が少ないとき ➡ 新しい電池(単3形乾電池)と交換してください。

■秒針が止まっている

針がぐるぐる回った直後の電波受信状態のとき ➡ そのままお待ちください。

電波を受信すると、秒針が通常運針を始め、時・分針が早回りを始めて自動で現在時刻を指して、通常の運針を始めます。電波を受信できなかった場合は、針は受信経過時間を加えた位置まで進み、通常の運針を始めます。

故障かな?と思ったら

※本品が正常に作動していないときは、修理を依頼する前に下の表を参考にお確かめください。

症 状	原 因	処 置
時計が動かない	■電池が入っていない ■電池が正しい向きで入っていない ■電池の容量が無い	■新しい単3形乾電池を「+」「-」の向きを確かめて、電池ボックスに正しく入れてください。
	■電池端子の接触不良	■端子の表面を拭いて電池を入れ直してください。
時計が止まる、または遅れる	■電池の容量が少ない	■新しい単3形乾電池と交換してください。
	■電波障害	■単3形乾電池を一旦電池ボックスから、とりはずしてください。(本取扱説明書「リセット操作について」参照) ■テレビ・パソコン機器の近くでは電波受信を阻害する場合があります。1~2mは離して設置ください。
時・分針が早回りした後、動かない	■電波の受信中	■そのまま15分ほどお待ちください。その間ボタンの操作はしないでください。本取扱説明書「ご使用方法」の「②」参照
	■電池の容量が無い ■電池の容量が少ない	■指定の新しい単3形乾電池と交換してください。

仕 様

時 間 精 度	平均月差±30秒以内(常温での使用時)(電波時計による時刻修正を行わない場合)
表 示 精 度	±1秒以内(電波受信による時刻修正の直後)
使 用 温 度 範 囲	0℃~+40℃
使 用 推 奨 電 池	単3形アルカリ乾電池(LR6 1.5V):1個(別売) ※充電式電池・オキシライド乾電池・リチウム乾電池には対応しておりません。 機械に不具合が起きる可能性がありますので使用しないでください。
電 池 寿 命	約1年(単3形アルカリ乾電池1個使用の場合)
電波受信/時刻合わせ機能	40kHz/60kHzのどちらか受信しやすい電波を自動受信し、自動セットします。 ●自動受信(最多6回/1日) ●強制受信
サ イ ズ (約)	径280×厚み45(mm)
重 量	約420g(電池未収納時)
材 質	耐衝撃性ポリスチレン、ガラス

電波時計について

電波時計/電波修正機能

電波時計とは、正確な時刻情報(日本標準時)の長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。(JJY 福島局 周波数 40kHz、九州局 周波数 60kHz)

標準電波

情報通信研究機構(NICT)が運用している時刻情報をのせた電波で、それぞれ異なる周波数で国内2ヶ所の標準電波送信所から送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高性能を保つ「原子時計」によるものです。

電波受信

●標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所(東西2ヶ所)からおおよそ1000~1200kmです。●本品は40kHz(東・福島送信所)、60kHz(西・九州送信所)のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し、受信します。●天候、設置場所、向き、時間帯、あるいは地形や建物の影響などにより、受信できない場合があります。

日本国外でのご使用について

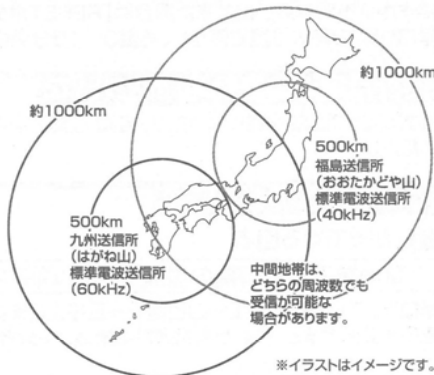
本品は、日本標準電波仕様ですので、海外での電波修正機能はご使用できません。

※ご使用になる場所の条件により、日本の標準電波送信所から1,000km以上離れた場所でも、日本の標準電波を受信して日本時刻を表示する場合があります。

使用場所について

電波時計はラジオと同じように電波を受信して機能します。以下のような条件では電波受信が困難になりますので、このような場所を避けて使用してください。

●鉄筋、鉄骨の建物の中や地下(窓際では電波の受信が比較的しやすくなります) ●自動車、電車、飛行機などの中(移動中は特に電波障害が起きやすくなります) ●山、ビルなど電波をさえぎるものの近く ●空港、交通量の多い道路の近くや工事現場など電波障害の起きる場所 ●ラジオやテレビの送信所、高圧送電線の近く ●テレビ、パソコン、ファックスなどの家電機器や、携帯電話などの通信機器、蛍光灯など照明の近く ●金属面(床や壁)に接して設置した場合



※イラストはイメージです。

注意

- 電波障害などが原因で誤った受信をした際に、間違った時刻を表示する場合があります。また使用場所や電波状況によっては受信できないことがあります。その際は、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。
- 標準電波は毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信をおこなうため、一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。

▲ 注意と警告 安全にご使用いただくために下記の注意事項を必ず守ってください。

使用上の注意



禁止

- 分解・改造をしないでください。



注意・警告

- 強いショックを与えないでください。
- 下記の場所での使用・保管はしないでください。
■温度が0℃以下、または40℃以上になる場所 ■浴室など、湿気の多い場所 ■直射日光など、強い紫外線が当たる場所
■強い磁気のある場所 ■振動の激しい場所 ■工場、台所など油分の多く発生する場所 ■温泉場など、ガスの発生する場所

電池について



禁止

- 電池を直接はんだ付け、ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。



注意・警告

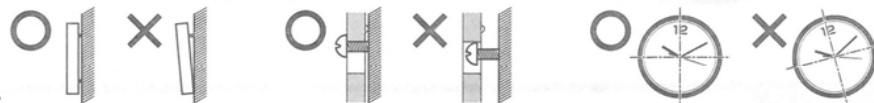
- 電池の寿命が切れたらすぐに電池ホルダーからはずしてください。●本品を長期間使用しない場合は、本品から電池をはずしてください。●電池が液漏れした場合は、液に触れないでください。●万一、電池の溶液が皮膚や衣服に付着した場合にはきれいな水で洗い流してください。また、目に入ったときは、失明などの恐れがありますので、水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。●電池は飲み込むと窒息や中毒の恐れがあります。幼児の手の届かない場所に保管してください。●電池を廃棄および保存する場合は、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池と混じると発火・破裂の原因となります。

時計の掛け方について



注意・警告

- 落下によりケガをする恐れがありますので、確実に掛けてください。●本品を掛け具に掛けた際に、本品を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。●本品が傾いていると、時計の精度や機能が正常に動かないので、垂直・水平に掛けてください。●コンクリート、石膏ボードなどの壁には壁の材質に合わせて市販の掛け具を使用してください。



※イラストはイメージです。

お手入れについて

- プラスチック枠をふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふいた後に、カラぶきをしてください。木枠や金属枠の場合は、柔らかい布でカラぶきをしてください。●変色、変形の恐れがありますので、ベンジン、アルコールなどの溶剤、ミガキ粉、ブラシは使わないでください。

《保証書》

保証期間(本体)		お買い上げ日より1年間	
お買い上げ 年 月 日	年 月 日	品名/電波時計 型番/FX-RC5818	
※●お客様	ご住所	□□-□□□□	
	電話	()	
※●販売店	お名前	様	
	住所・店名・電話		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

販売元

コーナン商事株式会社

大阪府大阪市淀川区西宮原2丁目2番17号

MADE IN CHINA 20-Mar

販売証明書またはレシート貼付欄